



2026年4月16日

各位

会社名 中本パックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 河田 淳
(コード番号: 7811 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 総務・経営企画部長 吉田 卓司
(TEL. 06-6762-0431)

中期経営計画 2027 の策定に関するお知らせ

当社は、2027年2月期から2029年2月期までの3か年を対象とした「中期経営計画 2027」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

「中期経営計画 2027」の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

中期経営計画

2027

2027年2月期～2029年2月期

事業計画及び成長の可能性に関する説明資料

中本パックス株式会社 証券コード7811

2026年4月16日

- 1 創業の精神及び経営理念**
- 2 中期経営計画2024振り返り (ローリング)
(2024年2月期～2026年2月期)
- 3 中期経営計画2027
(2027年2月期～2029年2月期)
成長戦略 (経営方針と重点取組)
- 4 資本政策と株主還元方針

経営理念（社是）



経営目標（ビジョン）

「クリーン&セイフティ」

改質エコ技術でパッケージングの世界を変える

Nブランド製品の拡販と環境経営の推進

原点回帰でお客様満足度を最大化する

歴史
創業

1941年

資本金

1,057百万円

上場市場

東証
スタンダード市場
7811

グループ社員数
(2026年2月末)

883名

時価総額
(2026年2月期)

180億円

売上高
(2026年2月期)

496億円

経常利益
(2026年2月期)

30.5億円

ROE
(2026年2月期)

10.8%

グローバル

海外売上高
6.4%

拠点数

中本ボックス工場 国内子会社 海外子会社
6工場 7社 5社

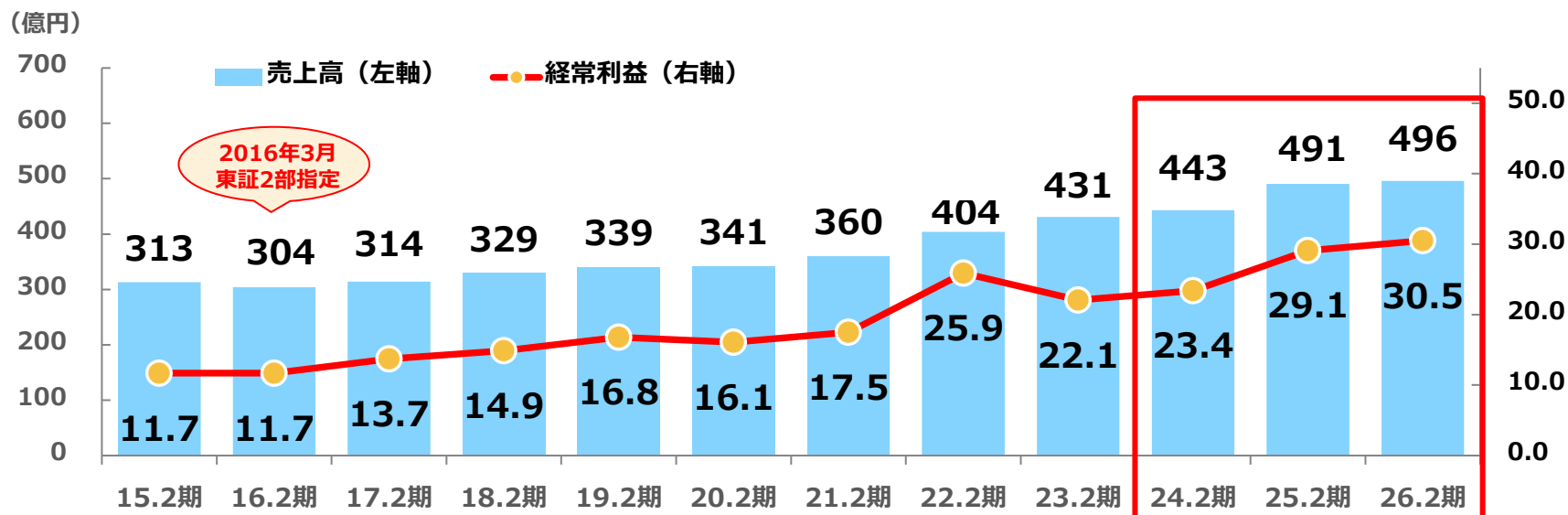
平均年齢
(2026年2月期)

42歳

- 1 創業の精神及び経営理念
- 2 **中期経営計画2024振り返り** (ローリング)
(2024年2月期～2026年2月期)
- 3 中期経営計画2027
(2027年2月期～2029年2月期)
成長戦略 (経営方針と重点取組)
- 4 資本政策と株主還元方針

前中期経営計画の振り返り総括①

単位：百万円	2023年 2月期	2024年 2月期	2025年 2月期	2026年 2月期
売上	43,128	44,362	49,132	49,635
営業利益	1,892	1,815	2,871	2,961
経常利益	2,206	2,341	2,908	3,051
ROE	8.6%	6.4%	10.9%	10.8%



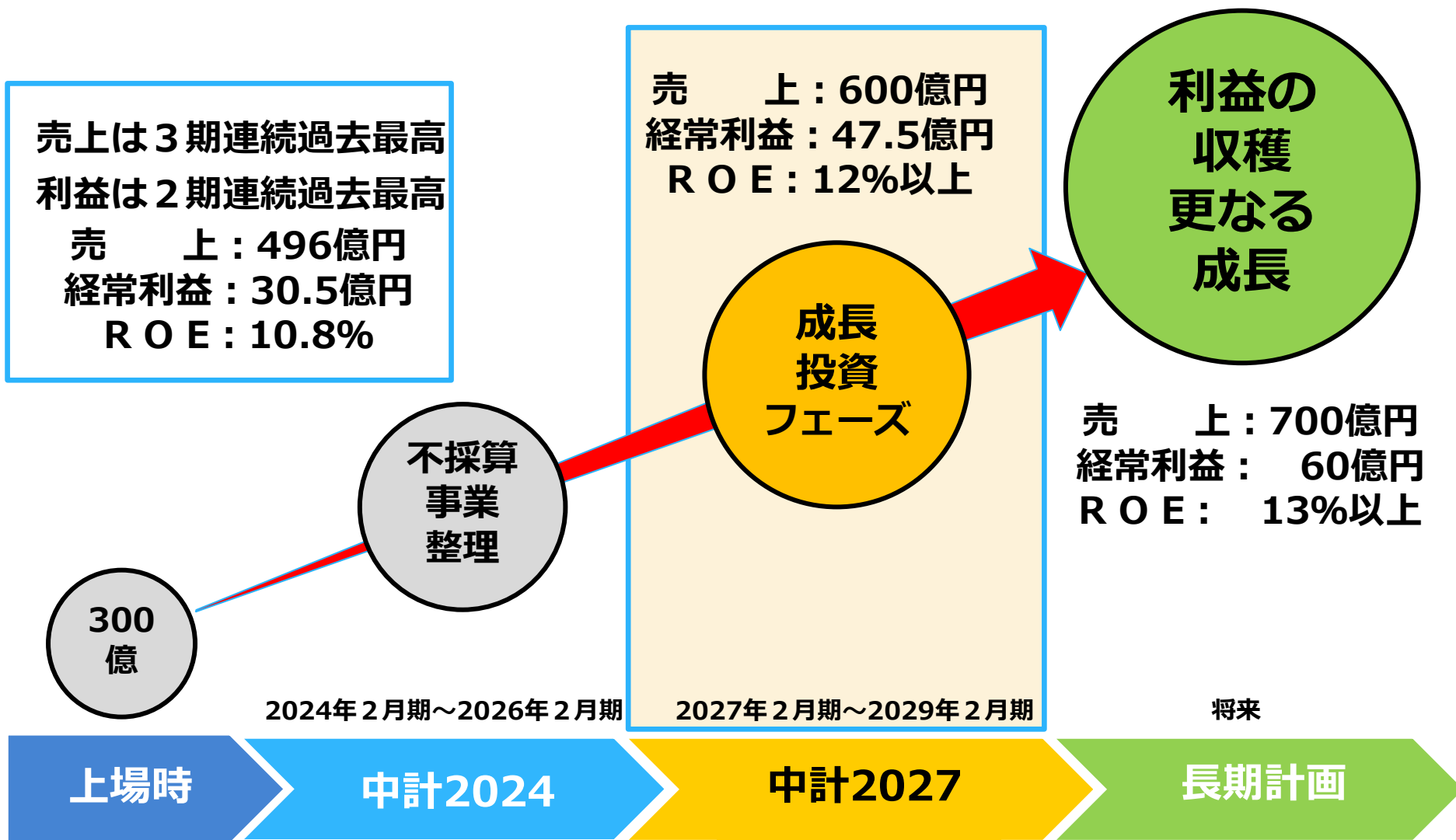
前中期経営計画の振り返り総括②

	評価	3年間の実績
積極的なM&A	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ RNスマートパッケージング社を設立（リコー51%/中本49%） ・ ニッセー社より食品成型容器を製造する会社を事業譲受 ・ MICS化学へのTOB、株式交換により完全子会社化
海外事業の拡大	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ Nakamoto Packs USAの黒字化達成済 ・ ベトナム工場の立上げ完了、しかしまだ若干の赤字 ・ 2025年に海外売上比率10%達成、現在は6%で未達
環境経営推進	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマスインキの使用率は50%を超えた ・ 紙にバリア機能を付与できる生分解RESC®の製品化 ・ PET樹脂の使用量が削減できる自社開発NAK-A-PETの拡販中 ・ 太陽光発電導入（埼玉新工場）、省エネ機器の導入中
電子部品・工業材の開発強化	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術開発部強化の為、人員増加、新規分析装置導入 ・ 埼玉工場の隣地を購入し、将来のコーター機導入に備える
製造原価低減	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の子会社、自社工場で製造原価の低減が進んだが、全体ではまだまだ改善の余地有り ・ SCMの活動は調査段階どまり、実行には至らなかった

- 1 創業の精神及び経営理念
- 2 中期経営計画2024振り返り（ローリング）
（2024年2月期～2026年2月期）
- 3 中期経営計画2027
（2027年2月期～2029年2月期）
成長戦略（経営方針と重点取組）**
- 4 資本政策と株主還元方針

中期経営計画2027の位置づけ

自社製品比率を高めながら2029年2月期に売上600億円を目指す



1. 安全とコンプライアンスの徹底による健全経営
2. 全天候型経営（多様なジャンルをバランスよく伸ばし、特定業界の好不況に左右されない経営基盤を築く）
3. 環境経営の推進（脱炭素社会及び循環型社会の実現、包装を通じて減プラ、食品ロス低減への取組みを推進）
4. 効率化による生産性の向上、製造原価削減、ロス低減を徹底し競争力を高める
5. 技術、品質、サービス向上でお客様満足度を最大化する
6. 海外事業の拡大により、グローバル経営を推進する

環境経営 CO₂排出削減 VOC排出削減 減プラ

- 紙容器、生分解性樹脂、バイオプラなど環境対応製品の開発、生産対応強化
- バイオマスインキ、水性接着剤の積極採用
- リサイクル、リペレット事業の強化
- 包装による賞味期限の延長で食品ロス削減
- 省エネ機器、太陽光発電設備導入

IT・工業材分野 の開発強化

- 電子部品/半導体製造用フィルム・スマートフォン/2次電池部材分野の製品取り込み
- 前期購入した土地への新型コーター機投資
- 自社エンジニアリング部門強化、機械自作し開発テーマに最適・迅速に対応

積極的なM&A

- 前中計期間で実施した2社M&A、1社合併会社との更なるシナジー向上
- 中計2027では更にM&Aを進める事で、成長スピードを加速、全天候型経営を磨く

埼玉 新研究開発拠点 R&Dセンター 立上げ

- 研究開発拠点を工場に付設
- 技術開発部、分析センター、エンジニアリング部が連携し、新規製品、自社製品開発を効率よくスピーディに推し進める

製造原価低減 製品競争力UP

- 生産工場の建て替え、生産設備の更新により生産効率UP、省人化、省エネ化を図る
- 更なる原価低減を進め製品競争力を高め、新規受注を増やす

海外事業の拡大

- 成長が見込める海外事業を拡大する
- ベトナム工場の安定的黒字化
- アメリカ拠点売上の拡大
- 海外売上高比率10%以上を目標

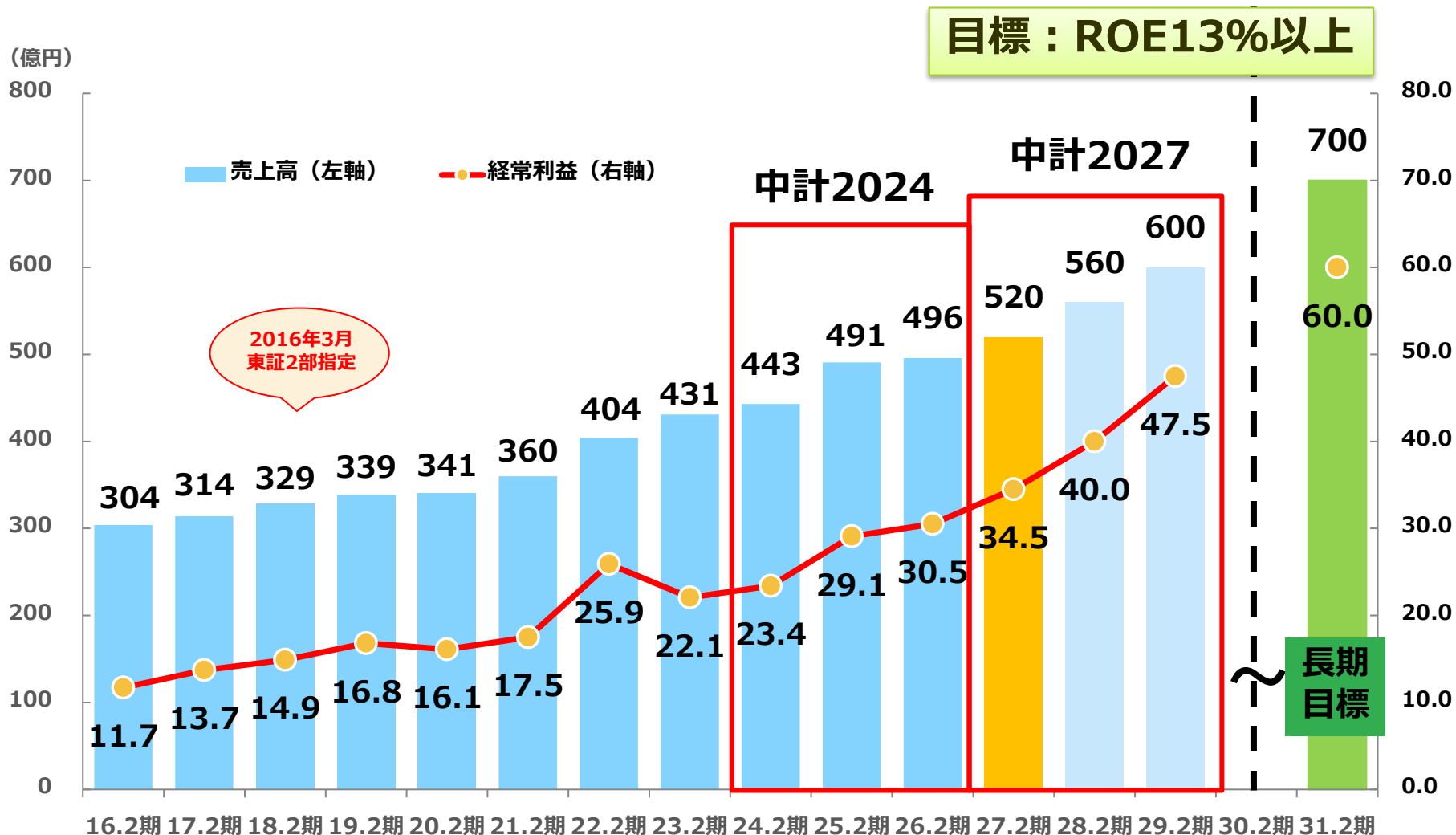
中期経営計画2027・長期業績目標

単位：百万円	2027年 2月期	2028年 2月期	2029年 2月期	長期目標
売上	52,000	56,000	60,000	70,000
営業利益	3,250	3,750	4,500	5,700
営業利益率	6.3%	6.7%	7.5%	8.1%
経常利益	3,450	4,000	4,750	6,000
経常利益率	6.6%	7.1%	7.9%	8.6%
ROE	10%以上	11%以上	12%以上	13%以上

急速に変化する市場環境の中、全天候型経営と堅実な成長戦略、業界に拘らない積極的なM&A、研究開発投資により競争力を高め、企業価値の向上を図る

中長期計画2027業績目標

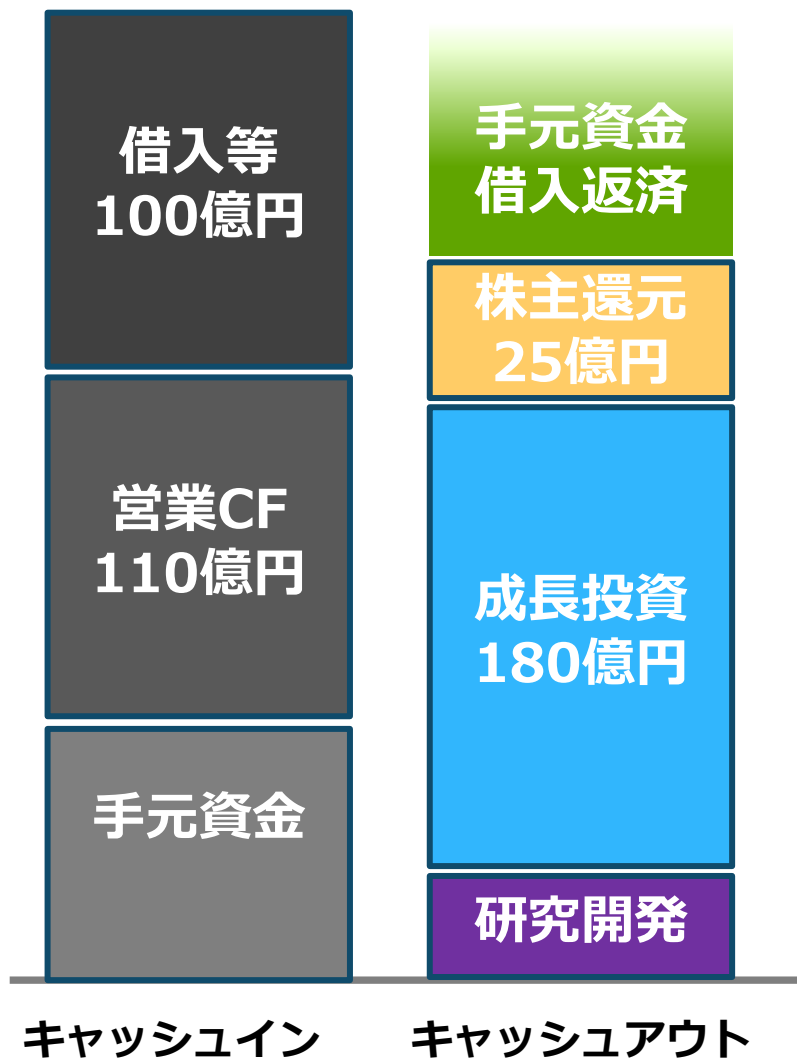
(2027年2月期～2029年2月期)



- 1 創業の精神及び経営理念
- 2 中期経営計画2024振り返り（ローリング）
（2024年2月期～2026年2月期）
- 3 中期経営計画2027
（2027年2月期～2029年2月期）
成長戦略（経営方針と重点取組）
- 4 資本政策と株主還元方針

キャッシュ・アロケーション

2027年2月期～2029年2月期(3年間累計)



株主還元

累進配当を採用、配当性向30%を目安とし、安定的・継続的に実施

成長投資

- 成長領域の拡大に向け、戦略的、機動的に、資本コストを意識した資金投入を実施
(機能材向け新規コーター、新工場建設、生産設備更新 など)
- 中計2024に引き続き、積極的なM&Aを行い、成長スピードを加速

研究開発

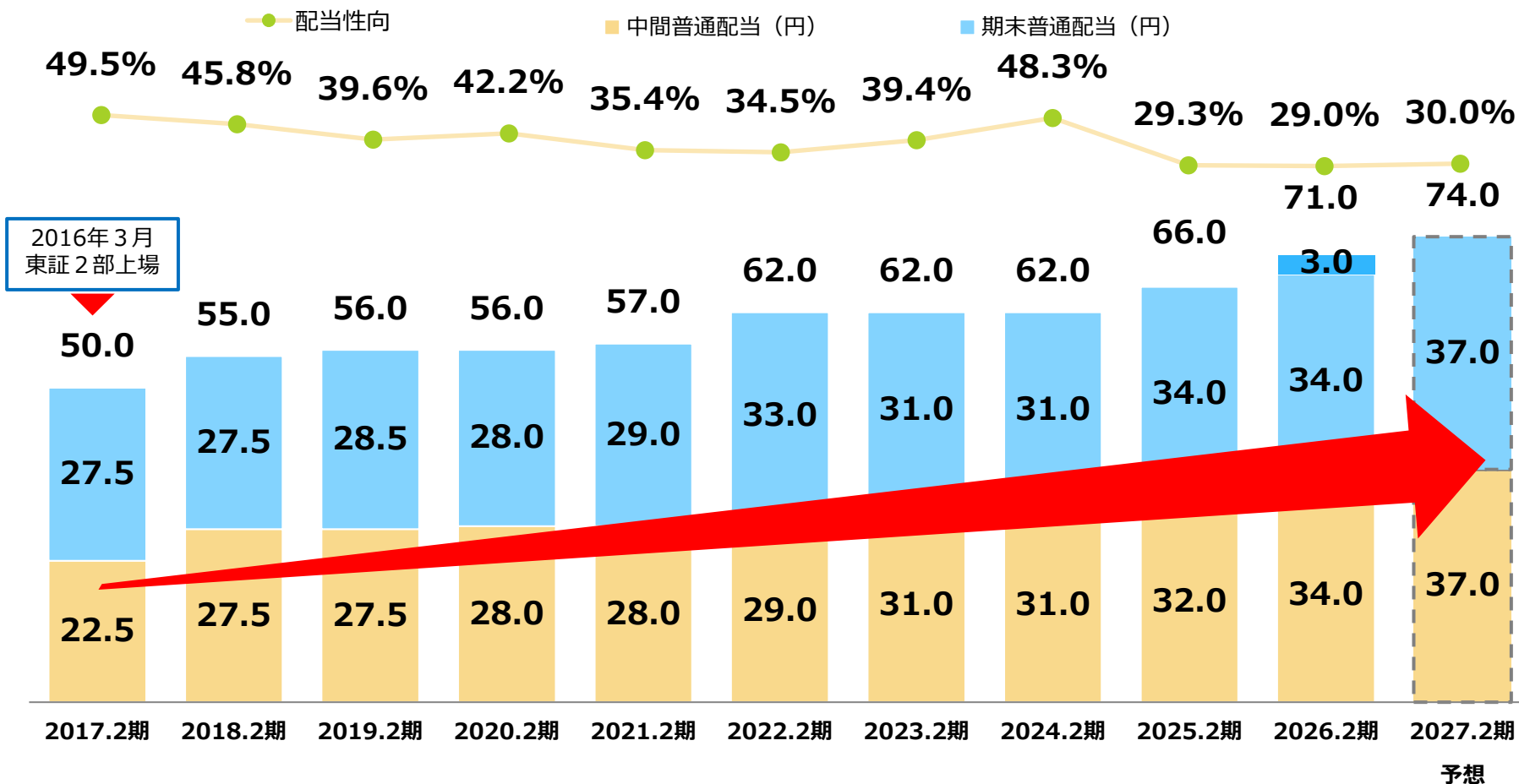
R&Dセンターを埼玉新工場に設置、製品開発を進める為、研究開発費を増額

株主還元方針

- 将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を行う方針です。

2027年2月期は3円増配の年間74円配当を予定

11年連続累進配当予定



【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。